

教職員

(○印は主顧問)

No.	氏名	分掌・担当教科等	部活動
1		校長	
2		教頭 特別支援教育コーディネーター せがほ相談窓口	
3		教務主任 英語	野球 剣道
4		生徒指導主事 適応指導コーディネーター 特別支援教育コーディネーター 保健体育	○剣道 特設陸上
5		1年主任 国語	○読書 柔道
6		1年副主任 社会	○卓球
7		1年A組担任 特別支援教育コーディネーター 保健体育 せがほ相談窓口	特設陸上 吹奏楽
8		1年B組担任 理科 数学	○バレーボール
9		2年主任 数学	卓球 読書
10		2年副主任 特別支援教育コーディネーター フレンドB組担任 家庭科 せがほ相談窓口	○ソフトテニス女子
11		2年A組担任 理科 数学	バレーボール ソフトテニス
12		2年B組担任 英語	○特設陸上
13		3年主任 進路指導主事 安全主任 国語	○野球
14		3年副主任 特別支援教育コーディネーター フレンドA組担任 音楽 せがほ相談窓口	○吹奏楽
15		3年A組担任 保健体育 数学	○柔道
16		3年B組担任 社会	○ソフトテニス男子
17		養護教諭 せがほ相談窓口	
18		事務長 事務管理	
19		美術科講師(非常勤)	
20		技術科講師(非常勤)	
21		初任者指導(非常勤)	
22		学習サポーター	
23		ALT 英語	
24		スクールカウンセラー せがほ相談窓口	
25		用務員	
26		スクールサポートスタッフ	

一 雷台にあかねさし 日はのぼりきて雲はえぬ
集う我らの意気高く 学び鍛えん今日の日を
我大多喜に生まれきて 栄光の地と父母に
報ゆるは誰ぞそは我ら 大中大中我が母校

二 慶長の年忠勝の 築きし天守鏝光る
朝夕べに仰ぎつゝ 育ちし我ら今起ちぬ
行く手を見れば桜花 いさや進まん羽ばたかん
伸びゆくは誰ぞそは我ら 大中大中我が母校

三 炎熱もゆる夏の日も 霜の朝も土を蹴り
裂帛の気は堂に満ち はげむ若人汗流る
衆の音遠くこだまして 学舎の燈今宵また
栄冠は誰ぞそは我ら 大中大中我が母校

四 縄文弥生跡たずね 古き祖先の生活をば
偲びて遠く夢走る 遙かなる日を望みつゝ
青雲の心語りては 変わらぬ永遠の友情を
誓いしは誰ぞそは我ら 大中大中我が母校

大多喜中学校校歌

作詞 尾本信平
作曲 市角源一

旧大多喜中学校の沿革 ～平成29年度

- 昭和22. 4 学制改革により大多喜町立大多喜中学校を設置
27. 9 現在地に校舎2棟を新築、移転完了
33. 4 大多喜中学校、上瀬中学校、総元中学校の3校を統合し、
大多喜中学校として開校
53. 10 学力向上推進地域研究学校指定公開(51～53年度)
54. 12 大多喜中学校校歌制定
平成元. 11 県教育委員会指定大多喜中学校区生徒指導推進地域公開
8. 11 文部省、町教育委員会指定道徳教育研究発表
21. 11 平成21年度千葉県学校体育研究大会分科会場
27. 11 千葉県教育研究会理科教育部会研究発表大会
29. 3 いきいきちばっ子「元気アップ・プラン大作戦」コンクール
優秀賞を受賞
29. 11 千葉県学校歯科保健優良校表彰優良賞

旧西中学校の沿革 ～平成29年度

- 昭和22. 5 老川村立老川中学校及び西畑村立西畑中学校を設置
29. 10 大多喜町立老川中学校及び大多喜町立西畑中学校と改称
40. 4 大多喜町立西中学校と改称し老川西畑両校舎をもって充足
41. 7 3階建鉄筋コンクリート造の校舎落成
47. 3 西中学校校歌制定
60. 4 県教育委員会指定「学校給食研究校」
平成7. 3 日本児童教育振興財団から全国小・中学校環境教育賞を受賞
9. 11 県教育委員会から教育功労者表彰(団体の部)を受賞
14. 2 県教育委員会から千葉県学校健康教育優良校として表彰
17. 11 学校保健で文部科学大臣表彰を受賞
23. 10 千葉県音楽研究大会
26. 4 県教育委員会指定「特色ある道徳教育推進校」

大多喜中学校の沿革 平成30年度～

- 平成30. 4 西中学校と大多喜中学校が学校統合
31. 2 教育実践論文「記述力・表現力を高める工夫」最優秀賞を受賞
31. 3 いきいきちばっ子「元気アップ・プラン大作戦」コンクール
(学級みんなで部門)優秀賞
令和元. 10 県教育委員会から教育功労者表彰(団体の部)を受賞
11 学力向上交流会 学校公開
令和3. 3 一人一台端末完備

学級編制

令和5年5月1日

学年	男子	女子	合計
1年A組	13	16	29
1年B組	13	16	29
2年A組	14	12	26
2年B組	14	12	26
3年A組	16	12	28
3年B組	16	11	27
フレンド	2	2	4
合計	88	81	169

令和5年度

学校要覧



校舎後方に大多喜城を望む(4月)



霧のグラウンドを走る「朝陸」参加者(12月)

大多喜町立大多喜中学校

所在地 〒298-0204
夷隅郡大多喜町船子197
電話 0470-82-2914
FAX 0470-82-4577
E-mail otakichu@town.otaki.lg.jp

学校経営の概要

学校教育目標

夢や目標に向かい、知性と豊かな心を備え、
健康で活力あふれる生徒の育成

※活力あふれる…活動する意欲や気力が充実し、最後まであきらめずに取り組むこと。

<めざす生徒の姿>

- 自ら学び、思考し表現できる生徒
- 心身ともにたくましく、活力あふれる生徒
- 思いやりと責任ある行動のできる生徒
- 郷土を愛し、郷土に誇りを持つ生徒

<めざす教師の姿>

- 常に生徒理解に努め、生徒を大切にする教師
- 創意と工夫に満ち、研究と修養に励む教師
- 明るく健康で、生徒・家庭・地域から信頼される教師

<めざす学校の姿>

- 学びの充実感・達成感があり、夢や希望を育む学校
- 安心・安全で、誰もが行きたいと思える学校
- 地域に開かれ、地域と共に歩む学校



幕張総合高等学校合唱団
「音楽の集い」



2年生
職場体験学習報告会

一 目標達成に向けての重点 一

- 夢を育み、安全・安心で生徒・家庭・地域から信頼される学校づくりに努める。
 - (1) 学校教育全体・各教科等の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながらカリキュラム・マネジメントの視点から教育活動の充実を努める。
 - (2) 資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を推進し、生徒に生きる力を育む。
 - (3) 生徒指導の機能を重視したわかる授業の展開に努めるとともに、自尊感情を育む。
 - (4) 教育活動全体で進める道徳教育及び要となる道徳科の一層の充実を図るとともに「考え、議論する道徳」を意識した指導方法の工夫・改善に努める。
 - (5) 生徒を中心に据えた豊かな体験活動を充実させ、教師と生徒、生徒相互の交流を深める。
 - (6) 暴力行為・いじめ等の問題行動や不登校など生徒指導上の課題に対して速やかに対応し、外部機関と連携し組織的で実効力のある体制をつくる。
 - (7) 生徒一人一人の教育的ニーズ等に応じた合理的配慮の提供を適切に行い、個別的教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、個々の生徒の状況に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的・計画的に行う。
 - (8) 健康で安全な生活を実践する態度の育成及び体力の向上を図る。
 - (9) すべての教育活動をキャリア教育の視点でとらえ、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する。
 - (10) 大多喜町や日本の歴史・伝統文化の理解に努め、郷土愛を育む。
 - (11) 家庭や地域との連携を密にし、互いに支え合う学校づくりを推進する。

教育計画

1 教科等の授業時間（週当たりの時数で50分を1単位）

教科等	学年	1年	2年	3年
国語		4	4	3
社会		3	3	4
数学		4	3	4
理科		3	4	4
英語		4	4	4
音楽		1.3	1	1
美術		1.3	1	1
保健体育		3	3	3
技術・家庭		2	2	1
道徳		1	1	1
特別活動		1	1	1
総合的な学習		1.4	2	2
合計		29	29	29

【表について】

○数学、英語、総合的な学習の時間で、少人数または、TTによる指導を実施する。

2 本校の特色

(1) 朝読書・小テスト

各教科の基礎・基本の充実を目指し、漢字・計算・英語の小テストを実施している。また、学習が落ち着いてスタートできるようにするため、毎朝、読書の時間を設けている。

平成29年度からは、文章を書く能力を向上させる目的で「サク作タイム」という時間を設けて実施している。

(2) 学習相談

教科別に「学習の手引き」を作成・配付して、家庭学習の充実を図っている。また定期的に学習相談を設け、生徒個々の学習実態に応じた支援・援助を行っている。

(3) 評価の2期制

評価期間を長く設定することにより、より客観性・公平性のある評価を目指している。また、生徒の良さや頑張りがよく見えるようにしている。

3 研究テーマ

学力を向上させるための指導の工夫・改善
～ 表現する力の育成を目指して ～

<研究目標>

各教科・領域において学び合いの場を生かした指導を工夫し、生徒一人一人の表現する力を育成する。

<研究の視点>

- 基礎・基本の習得と、思考力・表現力を高める「学習活動」の設定と工夫
- 生徒指導の機能を生かした授業改善の展開

主な学校行事

○学力向上

【学校公開】7月、10月、2月の年間3回、6日間

日頃の学習状況を多くの保護者、学校関係者の方々に参観していただく機会を通し、本校の教育活動について理解を得られるよう努めている。

【サク作タイム】

前後期に各2回、朝自習の時間に課題を選んで自分の思いを短作文で書く取り組みを全校体制で継続して行っている。そして、作品を掲示して読み合うことで、生徒が相互に文章を書く能力を高め合えるようにしている。

○豊かな心を備えた生徒の育成

【愛校作業・親子奉仕作業】5月、10月

長期休業前後や学校行事に向け、全校生徒が校舎内外の環境美化活動を行うことを通してボランティア精神や母校を愛する心、環境保護に関する心情を養っている。

【文化祭】10月

大多喜中学校体育館を会場に開催されるこの行事は、多くの保護者、地域の方々も参観される行事であり、生徒が日頃から取り組んできた合唱等学習の成果を発表する場でもある。仲間と協力することの体験ができる絶好の機会としている。



合唱コンクール

○健康で活力あふれる生徒の育成

【体育祭】5月

体育祭の企画、運営を生徒会総務及び各専門委員会の活動と関連づけながら進めるとともに、生徒の自主的な活動の場をより多く設定することで、運動する喜びや達成感を味わえるようにしている。



全校生徒による綱引き

【徒歩遠足学習】6月

1年生が実施。小班編成での活動を重視し、班員各自が役割分担を明確にしながらかつた協力できるようにしている。これにより、生徒一人一人の自己有用感を育み、生徒の自主的な活動へとつながるようにしている。また、生徒同士の親睦を深める、郷土の歴史に触れるというねらいもある。



徒歩遠足の様子